

【学校教育目標】 豊かな感性を持ち、主体的に学び、心身ともにたくましく生きる児童の育成



第五小だより

自分で・自分から、誰かのため・何かのため、それが未来のため

令和8年4月号

朝霞市立朝霞第五小学校

朝霞市泉水3-16-1

TEL048-462-0455

自分で・自分から、誰かのため・何かのため、それが未来のため

校長 田邊 雅也

ご入学、ご進級おめでとうございます。

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。135名の新入生を迎え、全校の児童数901名、学級数31学級（通常学級28、特別支援学級3）で、第五小の新学期がスタートしました。新しい友達、新しい教職員との出会いを大切に、保護者、地域の皆様とともに、「豊かな感性を持ち、主体的に学び、心身ともにたくましく生きる児童の育成」を目指していきます。今年度も引き続き第五小の校長となった田邊 推也です。子供たちの成長に立ち会えることに大きな喜びを感じています。

【学校教育目標】 豊かな感性を持ち、主体的に学び、心身ともにたくましく生きる児童の育成

- ⑴ 元気な子 体 自分から進んで運動し身体を鍛える児童
- ⑵ 優しい子 徳 自分からあいさつができる児童、自分から優しい言葉がけができる児童
- ⑶ 究める子 知 自分から授業で探究できる児童

【目指す学校像】 自分で・自分から、誰かのため・何かのため、それが 未来のため

社会総がかりで、教育力を結集してウェルビーイングのある五小に（学社共創※）

朝霞市探究的な学び推進協力校に

今後、文部科学省の学習指導要領では、「探究的な学び」が中核となっていきます。今、全国的にその準備段階に入りました。実社会・実生活の興味・関心や問題意識から、まず「問い」を見つけ、課題解決に向け、試行錯誤をしていく学びです。教科等の学びを活用しながら、新たな価値を創造していくことを繰り返していく、という学習のプロセスを「探究的な学び」としています。朝霞市では、全小中学校で、数年かけて、こうした「探究的な学び」を本格的に推進していくこととなりました。本校は「朝霞市探究的な学び推進協力校」として委嘱され、さらなる試行錯誤をしていきます。「けやき」の三文字の中でも、特に「き究める子」は、「探究」の「究」でもあり、今後、ますます重要になっていくと考えています。

創立60周年 共にウマくいく大作戦

今年度は創立60周年を迎えます。PTA役員さんが中心となり、クラス集合写真（4月10日）と航空写真（5月15日）の準備を進めてくださっています。また、周年記念式典こそ開催しませんが、11月21日（土）に、学校公開とPTAの五小まつりを合同で開催し、子供たちの探究的な学びを通して、60周年をお祝いすることになっています。令和8年は、60年に一度の情熱的な「丙午（ひのえうま）」の年です。「創立60周年 共にウマくいく大作戦」として、子供・保護者・地域・学校がWin・Win・Win・Winとなる教育活動を、熱い思いで情熱的に共に創っていく、とも話しています。

自分で・自分から、誰かのため・何かのため、それが未来のため

このように、学校運営協議会やPTAの皆さんとは、60周年を節目として、「探究的な学び」を「共創」していくことで一致しています。「五小のため、地域のため」と真剣に考える教育活動を共に創り、子供たち自身が、五小の60年を心からお祝いできたら最高です。今年度の目指す学校像は、「自分で・自分から、誰かのため・何かのため、それが未来のため」としています。五小の地域が総がかりで、子供たちの質の高い学びを「共創」し、五小に関わる多くの皆様のよりよい未来につながる教育になれば、と思っています。今年度もご協力をお願いいたします。

※共創・学社共創（きょうそう・がくしゃきょうそう）

…学校教育（学校）と社会教育（地域）が、課題や目標を共有し、互いにベクトルを合わせて教育活動を共に創り、これまでの連携をさらに発展させ、学びを本物にしていくことです。子供たちに「実際の社会で活用できる力」の育成を目指します。